

県民とつくる

鳥取県立美術館ができるまでを伝える現状報告マガジン

# Pass me!

パスミー!

鳥取県立美術館の整備運営事業者が決まりました!

鳥取県立博物館から、  
新たな美術館  
づくりへの旅を  
つづけています!

## 県博 NEWS & TOPICS

01

美術家大辞典 鳥取県立博物館版



2019年度から2年間続くコレクション展企画。美術館の建設準備が進む今、その母体となる当館のコレクションに含まれるすべての美術作品の作者を、「辞典」のように50音順で紹介します。

会期 2021年3月28日(日)まで複数会期を設けて開催  
会場 鳥取県立博物館 美術常設展示室・第3特別展示室  
時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)  
料金 一般180円  
◀ 福留章太《増幅する20》1976年 当館蔵

02

夏休み企画 シリーズ：美術をめぐる場をつくるII  
森からの贈りもの-高田光治によるインスタレーション Voice of the forest



自然部門企画展「こんにちは変形菌!とってもふしぎな生きものです。」とのコラボ企画。変形菌をはじめ極小の存在に壮大な自然の営みを見出す、高田光治のインスタレーションを展示します。

会期 2020年7月18日(土)-8月30日(日)  
会場 鳥取県立博物館 第3特別展示室  
時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)  
料金 一般180円  
◀ 高田光治《tabibito》作家蔵

美術館を一緒に作りましょう!

MEMBER WANTED

美術館ができるまでを考えるワークショップやフリーペーパー制作に関わる仲間を募集しています。美術館ができるまでの待ち遠しい時間を、みんなで楽しみながら過ごしませんか?

お問い合わせ  
鳥取県立博物館 美術振興課  
TEL: 0857-26-8045  
FAX: 0857-26-8041

## 今号の運び人 passer

舞台は 鳥取砂丘 〒689-0105 鳥取県鳥取市福部町湯山2164-661



鳥取市で活動する  
美術家のおふたり

(左から)  
美術家・  
ファッションデザイナー  
森田しのぶさん  
美術家  
山根文字さん

閉館に向けて  
鳥取各地を  
白い箱が旅します



Q どんな活動をしているの?

A 行動美術協会に所属して、洋画の活動を続けています。博物館の「ワークショップつくり隊!」にも参加しています。(山根)

現代美術を推進する自由美術協会で、洋画を制作しながら、ファッションブランド「しのぶ」のデザイナーとして、アパレルメーカーの代表を務めています。(森田)

Q 鳥取県立美術館をどんな場所にしたい?

A 既存の作品はもちろん、時代に沿った多様な作品にも触れられる、誰もが行きやすい場所。世界に誇れる美術館になるといいですね。(森田)

この地で制作をする者にとっては、発表の場があることが励みになります。新しい美術館ができるこの機会に、若い作家やつくり手が育つ場ができることを切に願っています。(山根)

### Passer's Recommend /



1 地元でつくられた食器

県東部には多くの窯があります。焼きものの器や鉢などを日常的に使う文化が根づいているんですよ!



2 賀露神社春季祭礼行事

2年に1度、神輿や獅子などを船に乗せて千代川を下るお祭り「ホーエンヤ祭」が行われています!



3 面影山

散歩道として親しんでいる、近所の山。至るところに歌碑があり、この土地の歴史の奥深さを感じます!



今年1月に、美術館の整備運営事業者が決定しました! 建築と運営の提案概要をご紹介します。(令和2年1月時点)

「とつとりの未来をつくる」美術館が生まれます!

going 1

どんな建築なの?

大屋根の下に、「ひろま」が広がる3階建ての建築です。



多様な視線の交錯によって生み出される創造性あふれる「ひろま」の雰囲気

going 2

どんな美術館なの?

「鳥取県立美術館らしさ」をつくり、「鳥取の魅力」とともに広く発信します。

県立美術館としての品格と、親しみやすいみんなで作る美術館を両立し、美術を通して楽しく学べるプログラムを企画します。また、鳥取のまんが作家のみならず、広くポップカルチャーをさまざまな展覧会やプログラムで発信し、アートのすそ野を広げます。



大御堂廃寺跡を一望できる展望テラス

going 3

どんな特徴があるの?

県民が気軽に日々の活動に参画できる仕組みをつくり、県民が主役となる美術館をつくれます。

年間1000以上のプログラムを実施することで、誰もが毎日アートを楽しめます。ショップでは、県内のクリエイターの作品を展示販売し、企画展と連動したグッズも開発。レストランは、意欲のあるシェフや経営者を募集し、チャレンジを後押しします。

新たなアート活動の発表の場としても活用されるレストランやミュージアムショップ



今後、県学芸員との協議や県民のみなさんへの情報の公開と共有を行いながら、令和6年度の閉館に向けて準備を進めていきます。これからの動きにも、ぜひご注目ください!

# HISTORY OF MUSEUM



9/25 ~ 2018 H30

## 美術館整備推進事業のひとつ「バス招待」がはじまる

鳥取県内の小学校を、県立博物館に招待し、鑑賞事業を行う取り組み。本物の作品を鑑賞する楽しさを体感し、美術を身近に感じてもらうことを目的に実施しています。美術館開館後に、県内の小学生を招待するための試行でもあります。

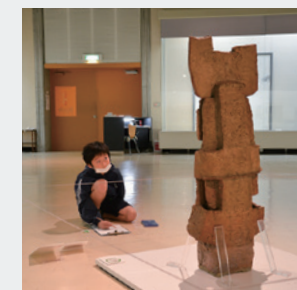


神野裕美さん(明治小学校教諭)

作品をじっくり観察し、真剣に向き合う子どもたちの姿は、学校での姿とはまた違いますね。博物館だからこそできる「本物に触れる」貴重な体験ができました。



作品を前にした対話型鑑賞の様子



作品の模写をする明治小学校児童



9/29 ~

## アートの種まきPROJECT メディアづくりシリーズがスタート

アートの種まきPROJECTのひとつとして、「鳥取県立美術館ができるまで」を伝えるメディアを考える取り組みがスタート。毎回ゲストを招き、編集、撮影、執筆などさまざまな視点から、ふさわしいメディアのあり方を考えるプログラムです。

WS参加者

小島慎司さん(Webデザイナー)

美術館ができることを知り、居ても立ってもいられず参加しました。人前で自分の想いや考えを伝える体験ができて楽しかったです。

WS参加者

吉田幸子さん

毎回テーマが異なるので、さまざまな視点をもつことができ、今までにない経験と素敵な時間を過ごさせていただいています。美術館ができるまでのワクワク感をみなさんと共有することも楽しみです。

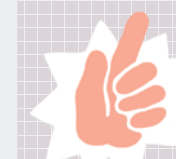
2/16 ~ 3/16 2019 H31

## 企画展「Our Collections!」を開催

県立美術館の核となる博物館の美術コレクションを中心に、展覧会を開催。これから収集したいと考えているさまざまなタイプの作品も県内外から借用して紹介し、展示を通して新しい美術館の姿を考えました。



竹川宣彰さんによるギャラリートークの様子



この展覧会では、新しい美術館のコレクション収集方針について、作品を例示しながら以下のようなプランを提案しました。展覧会の会期中に実施したアンケートでは、既存の収集方針は維持しつつも、新しい美術を求める声が多く挙がりました。

### 鳥取県の美術 — この地域の美術資源を未来へ —

- ・鳥取県にゆかりのある美術
- ・鳥取県の自然や風物を題材にしている
- ・郷土作家とつながりをもつ国内外の作家の作品

### 国内外の優れた美術 — 多様な世界との、新たな出会いを提案 —

- ・現代までの美術の流れを示す優れた作品
- ・未来をつくる同時代の表現

2/2・2/9

## 『デヴィッド・リンチ:アトライフ』無料上映会を実施

「毎週土曜はアートの日!」の一環として、アート系の映画やドキュメンタリー作品などを定期的に上映。多様なジャンルのアートに触れられる機会を提供しています。この回では、全国各地で話題となった奇才、デヴィッド・リンチが自らを語る映画を上映しました。

©Duck Diver Films & Kong Gulerod Film 2016



7/20

## 夏休み企画 シリーズ:美術をめぐる場をつくるI 「アートとの遭遇」を実施

「アートは、私たちにとって未知の可能性を秘めた、未確認飛行物体(=UFO)のような存在ではないか?」という考えから、UFOとの遭遇体験になぞらえた、アートとの出会いの場をつくった展覧会です。初日には、舞踏家集団「北斗座」によるパフォーマンスと、滞り制作中の武蔵野美術大学の学生によるライブドローイングが行われ、多くの方が作品や学生たちとの“接近遭遇”を楽しみました。



武蔵野美術大学の学生たちが公開制作をするブース

8/30

## ミュージアムサロン10 「アートと社会と未来について」開催

県内各地の文化活動のキーパーソンをゲストに迎えて、活動のあれこれやその背景を学芸員が公開インタビュー。さらに、地域の文化活動とそとのあり方、未来の美術館について、来場者も交えて熱く意見交換しています。



#10 奥田英範さんとのトークの様子

### これまでのミュージアムサロン(2019年12月まで)

#1\_2016.8.19  
 〓 境港 …… マルマス(喫茶店)  
 〓 増谷京子(マルマスオーナー)

#2\_2016.9.17  
 〓 湯梨浜 …… たみ(ゲストハウス&カフェ)  
 〓 蛇谷りえ(たみオーナー/アートコーディネーター)

#3\_2016.10.24  
 〓 関金 …… サロンド(フリースペース)  
 〓 楠本知恵美、BARON、河下哲志(関金AIR温泉)

番外編\_2016.9.21  
 〓 鳥取 …… バレットとっとり市民ホール  
 〓 松浦秀一郎(会社役員)  
 〓 三浦努、赤井あずみ(鳥取県立博物館)

※参加型トークイベント「トリの話しba vol.46」にゲストとして出演

### 開催場所

#4\_2016.12.4  
 〓 米子 …… ちいさいおうち(フリースペース)  
 〓 水田美世(AIR475事務局/元学芸員)

#5\_2018.3.30  
 〓 大山 …… 妻木ハウス(イベント・レジデンススペース)  
 〓 大下志穂(アートディレクター)

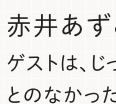
#6\_2018.3.31  
 〓 鳥取 …… チョコビル 鳥取家守舎  
 〓 本間公(家具職人)

#7\_2018.5.23  
 〓 八頭 …… 華Lab.  
 〓 古田琢也(デザイナー)

#8\_2018.6.3  
 〓 倉吉 …… モダン(喫茶店)  
 〓 波多野州平(映画監督)

#9\_2019.7.20  
 〓 智頭 …… 智頭宿 楽之  
 〓 柴田英昭(アーティスト/淀川テック)

#10\_2019.8.30  
 〓 米子 …… SHIMATORI米子店カフェイベントルーム  
 〓 奥田英範(さんいんキラリ編集長)



赤井あずみさん(学芸員)

ゲストは、じっくりお話を伺ったことのなかった方などに、ジャンルを問わずお声がけしています。リラックスした雰囲気できづづぱらんにお話してもらえらる場づくりを心がけています。

#8\_2018.6.3  
 〓 倉吉 …… モダン(喫茶店)  
 〓 波多野州平(映画監督)

#9\_2019.7.20  
 〓 智頭 …… 智頭宿 楽之  
 〓 柴田英昭(アーティスト/淀川テック)

#10\_2019.8.30  
 〓 米子 …… SHIMATORI米子店カフェイベントルーム  
 〓 奥田英範(さんいんキラリ編集長)

9/7・10/19

## アートの種まきPROJECT メディアづくりシリーズ③④を実施

2018年度に実施した1,2回目に続き、3回目にはアーティスト・柴田英昭さんを招き「コラージュ川柳」を用いた編集講座、4回目に写真家・藤田和俊さんによる写真講座を開催。メディアづくりに関わるノウハウを楽しく学びました。



左:5・7文字の言葉を切り抜いて川柳をつくる  
右:写真講座の一貫で紙飛行機をつくる参加者たち

WS講師

藤田和俊さん(写真家)

紙飛行機づくり&飛ばし大会を開き、撮影する写真講座を開催。みなさん楽しみながら撮影される姿が印象的でした。頭と体を使って、楽しく「伝えるための写真」を考える場をもてました。

WS参加者

三浦美子さん(あいサポート・アートセンター)

「奥行や角度、位置をちょっと考えてみる!」伝えたいことを意識して撮る「遠慮せず一歩前に出る!」など、写真講座のなかで学んだことを、日々実践しています。

12/1

## 『Pass me!』創刊号発行!



12/10

## 「コレクション宅配便」を実施

博物館の美術コレクションに間近で出会える「コレクション宅配便」を、鳥取短期大学で実施。県教育委員会は、7月に鳥取看護大学、鳥取短期大学と協定を結び、教育活動の充実や美術館の利用・運営への参画などについて今後積極的に連携協力していくことにしています。



渡邊太さん(鳥取短期大学国際交流学科教授)

対話型鑑賞に取り組んだ学生たちは、多様なもの見方と価値観に触れて、自身の感覚が揺さぶられることの趣深さを実感したようです。

WS参加者

これまで「コレクション宅配便」を実施したところ

イオン鳥取店 きなんせサロン(鳥取) / 溝口公民館(伯耆) / 大山中学校(大山) / 三朝西小学校(三朝) / 北条小学校(北条) / 面影小学校(鳥取) / 倉吉淀屋(倉吉) / 境港第三中学校(境港) / 倉吉体育文化会館(倉吉) / イタリアンレストラン アルマーレ(岩美) / 三朝小学校(三朝) / 湯梨浜町中央公民館(湯梨浜) / 淀江小学校(米子) / 鳥取短期大学(倉吉)



いよいよ美術館建設へ動き出します!



1/9・1/10 2020 R2

## 美術館整備運営事業に係る公開プレゼン&事業落札者の決定

倉吉未来中心で行われた美術館整備運営に係る公開プレゼンテーションは、約600名が傍聴に訪れ、注目を集めました。その後、審査会による提案業者への聞き取りと審査を経て、建設・運営を行う事業者を選定し、落札者として決定しました。



傍聴者で満員の倉吉未来中心小ホール

詳しくは中面にて!